

白井 鳥酔(しらい ちょうすい)

資 料

短冊『わかの浦にて たつ鶴を 相図に戻れ 汐干狩 鳥酔』

作 者

1701(元禄14)－1769(明和6). 4. 4

上総(千葉県)地引村生まれ。

享保11年に弟に家督を譲り、剃髪して江戸に出る。佐久間柳居に俳諧を学ぶ。明和3年、3世鳴立庵主になる。明和5年母の50回忌のために故郷に帰り、そのまま戻ることなく病没する。

参考文献

『俳豪鳥酔』(天野雨山／著 蕉風社 1933

[地域 K93. 61/21(50094374)])

『鳥明先生懐玉抄』(大鳳閣書房(俳文學大系 7) 1930

[県立 914. 5/16/7(11998937)])

『俳諧夏山伏』(西奴／著 1737

[地域 K93/48(50377746)])

『相洲大磯驛西鳴立沢記』(鳥酔 1767

[地域 K291. 61/6B(50314236)])

『地域おこしに尽くした先駆者(白井鳥酔)』(農山漁村文化協会(人づくり風土記 12) 1990. 11

[県立 210. 5W/307/12 (20255469)])

『夏山伏』(飯田九一／著 1958 [本目録に収録])

